



希望の鐘 *The Bell of Hope*

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 20-11

5月号

発行 2019年5月10日

Chartered 1998

会長	森下 千恵子	クラブ会長主題	「ワイズメンズクラブを楽しもう！」
副会長	松川 厚子	国際会長主題	“Yes, we can change” [私たちは変えられる]
会計	山崎 純子	アジア太平洋地域会長主題	“Action” 「アクション」
書記	吉野 勝三郎	東日本区理事主題	「成せば、成る」 No challenge, No fruit.
		関東東部部長主題	「良いものを見つけ・つなげて、よくなるう」

5月の聖書

主はわたしを青草の原に休ませ、
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

旧約聖書 詩篇 23章 2-3節

He makes me lie down in green pastures,
He leads me besides quiet waters,
He restores my soul.

(Psalm 23: 2-3)

埼玉3クラブ合同例会の報告

吉野 勝三郎

今年、埼玉YMCAが主催した、フィリピンワークキャンプの報告会に参加しましたので、その内容を報告します。

日時：2019年4月13日 午後6:00～
場所：埼玉YMCA所沢センター

川越クラブからは、利根川夫妻、山本剛史郎、吉田公代、吉野勝三郎の5人が出席しました。出席者全員では、23名でした。(下の写真参照)



このフィリピンワークキャンプは、埼玉YMCAとそれに奉仕する、ワイズメンズクラブに大きな影響を与えて来たイベントです。

まずは、私達の川越ワイズメンズクラブの設立に大きな役割を果たした、故工藤徹さんは、この報告会に出席して、若者にこれほどの良い感化を与えるイベントを企画・実行しているYMCAの活動に甚く感動して、川越にワイズメンズクラブを設立する活動を始めたと聞いています。

また、山本剛史郎さんは、1994年にこの埼玉Y

2019年4月の統計 (4月20日・27日)

在籍11名 出席者9名 出席率 82%

2019年 5月 例会予告

日時：5月25日(土) 午後4:00～7:00

場所：埼玉YMCA 川越センター

- 議題： 1. 伊勢 国望さんから、川越センターの施設を活用して計画中の、「子ども食堂」について、話を聞きます。20周年以降の新しいCS活動として検討して行きたいと思いますので、多くの会員・知人の出席を期待します。
2. 4月27日の20周年記念例会・講演会・懇親会など、一連の行事の反省会。
3. 6月例会の内容
いよいよ今年度の例会もあと一回となりました。次年度に向けてのご意見など、お寄せ下さい。

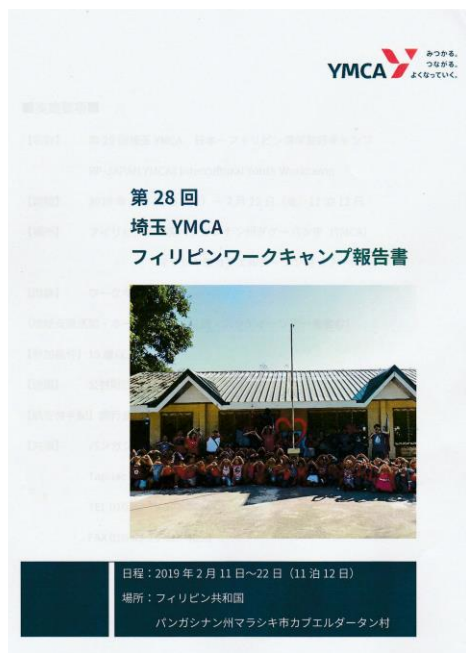
MCAが主催するフィリピンワークキャンプに参加したのが、YMCAとの接点であると、先日の川越ワイズクラブ設立20周年記念の冊子に書いておられます。

所沢クラブの大澤和子さんも、ご子息をこのフィリピンワークキャンプに参加させたことがきっかけで、YMCAとの絆ができたと聞いています。

そのようなフィリピンワークキャンプが、連綿と第28回を数えていることに感動を覚えます。今年参加した大学4年生、大学1年生、中学3年生の3名にとっては、生涯忘れられないだけでなく、これからの人生に大きな影響を与えたフィリピンツアーであったであろうことに疑うべくもありません。また、今年、埼玉YMCAの小谷全人総主事と職員の布目蓮(れん)さんも参加され、内容のあるワークキャンプとなったことの報告を聞くことができました。

私達川越ワイズメンズクラブの物心両面での支援がこのような形で用いられることは、ワイズメンズクラブの目的に合致するので、引き続きサポートして行きましょう。

このような立派な報告書が作成されていますので、この報告書をご覧になりたい方は、埼玉YMCAにコンタクトしてください。



川越ワイズメンズクラブ設立20周年記念例会～感謝と御礼を込めて～

森下 千恵子



平成も最後の4月27日土曜日に開催しました川越ワイズメンズクラブ設立20周年記念例会には多数お運びいただき誠にありがとうございました。北は盛岡から南は北九州まで遠路はるばる私たち川越クラブの設立記念に来ていただき感激いたしました。心が温かくなりました。懐かしい再会も初めましても、お迎えするときは緊張するとともに嬉しい時間でもあります。

1998年に設立し、この度20周年を迎えた私たちですが、日本のワイズメンズクラブの歴史からみればまだまだこれからと激励をいただいたようにも思います。

私は入会してたった8年目の会員です。ほとんどチャーターメンバーの諸先輩のお膳立ての上で務めた会長のお役でしたが、この川越ワイズメンズクラブの歴史に関わったことは私にとって貴重な経験になりました。記念例会の準備を進める中で初めて聞く様々なエピソードに感動したり、また設立時の話に入っていけないもどかしさも感じることもありましたが、チャーターメンバーの設立時の思いを感じることができる機会となりました。これらの活動の積み重ねを絶やさず次の世代につないでいく担い手にならねばと改めて思いました。

“20周年を次の20年へ!!”が今回の主題でしたが、20年とは言わず、ともしあえず次の10年へ紡いでいきましょう。

川越ワイズメンズクラブ設立20周年記念例会を通して改めてワイズメンズクラブの結束の強さと温かさを感じることができました。ワイズメンで良かったと思います。

この会にご参加いただいた皆様、またご協力いただいた方々、そして常日頃より川越ワイズメンズクラブをお支えくださっているすべての方々に心より感謝と御礼を申し上げます。

川越ワイズメンズクラブ設立20周年記念例会報告

利根川恵子・太郎

平成も残り4日となった平成31年4月27日(土)に、川越東武ホテルに於いて開催された川越ワイズメンズクラブ設立20周年記念例会は、メンバーが一丸となって見事なチームワークで大成功に終わらせることができましたと思います。残念ながら、松川厚子副会長、牛村永代ワイズは出席できませんでしたが、記念誌には寄稿があり、メンバー11名の協力の賜物であることに変わりはありません。またこの成功には、YMCAのスタッフとサポーターの生川美樹さんの応援も忘れることはできません。心からお礼を申し上げます。

さらに、改元に伴う大型連休初日にもかかわらず、北は盛岡から南は九州まで、67名という多くの皆様がお祝いに駆けつけてくださったことも、特筆に値する素晴らしいことでした。ワイズの連帯には本当に心が熱

くなります。

さて記念例会ですが、第一部は森下千恵子会長の開会点鐘で始まり、所沢ワイズメンズクラブ会長の澁谷弘祐牧師による聖書朗読・お祈り、(公財) 埼玉 YMCA 総主事・代表理事小谷全人様、アジア太平洋地域会長・田中博之様、東日本区理事・宮内友弥様のごあいさつと進みました。その際に、埼玉 YMCA から 20 周年の表彰盾をご恵贈戴き、大変良い記念となりました。また、川越クラブからは、埼玉 YMCA 川越センターにスチール書庫一基と会議椅子十脚を 20 周年の記念として贈呈いたしました。



第一部のハイライトは、吉野実行委員長による「川越クラブ 20 年の歩み」のプレゼンテーションです。山本剛史郎ワイズの写真データと恵子がスペイン語の宿題として付けている日記から、かなり多くの懐かしい写真をお目に掛けることができました。返す返すも残念なのは、設立 10 周年記念 3 クラブ合同例会、工藤徹ワイズを偲ぶ会の資料が無かったことです。今回の 20 周年記念例会については、記念誌、記念例会関係のデータの保存を肝に銘じています。

第二部の記念講演会は、山崎純子ワイズご紹介のベリ・ドゥエル氏による川越いも（紅あか）についてのご講演でした。ドゥエル氏は東京国際大学で教鞭を執る傍ら、川越いもの歴史や川越の発展とサツマイモの関係などを研究なさり、現在は「川越いもの会」会長をお務めです。紅あかチャリティ販売で YMCA サービス・CS 活動を繰り広げる川越クラブにとって、紅あかにまつわるお話は、20 周年記念にふさわしい最高の記念講演となりました。ユーモアを交えた誠実な語り口も、ドゥエル氏のお人柄がにじみ出ていて、今後も折に触れ、ご指導いただきたいと思ったのは私だけでは無いと思います。



最後の第三部・懇親会は、衣笠輝夫・関東東部部長の乾杯に始まり、親クラブ代表の東京クラブ・持田二郎ワイズのごあいさつからは、川越センター開設の苦労話まで飛び出し、持田さんのご功績の大きさを再認識しました。また DBC の北九州クラブから駆けつけてくださった安東邦昭ワイズは、最初の奉職が東京 YMCA ということで共通の知人も多く、埼玉 YMCA 初代総主事の大場敏治さんが、安東さんの最初の上司であったというのも奇遇なご縁です。

にぎやかにお話はずむ会場に花を添えたのは、鎌田政稔ワイズご紹介の毛利拓也カルテットのジャズ演奏でした。参加者のなかの音楽通をうならせる見事な演奏に、川越クラブ一同ちょっと鼻を高くしました。

続いて、インタビューでは、湘南・沖縄部エクステンション委員会委員長の辻剛ワイズと（仮）横浜つるみクラブの初代会長・久保勝昭ワイズに新しいクラブをチャーターする思いを、アースディ・イン・川越実行委員会委員長・武田侃蔵さんには 20 年におよぶ川越クラブとの協働の深さを、クラブバナーをデザインした新井壽代さんにはバナーに込めた願いをそれぞれ伺いました。



終わりに、田中博之・アジア太平洋地域会長を中心に、伊達政宗に扮した山本ワイズの号令で 7 月の第 28 回アジア太平洋地域大会のアピールを行い、吉野実行委員長の謝辞をもって閉会となりました。

「20 周年を次の 20 年へ」をモットーにした記念例会でしたが、多くの方々に祝福され、次の 20 年に踏み出すことができました。喜びと感謝をもって、これからもワイズ活動に精進しようと思いを新たにしました。ありがとうございました。

YMCA 報告

<アメリカから New スタッフ採用>

アメリカから新しいスタッフを採用しました。ベンジャミン退職後、こぼと児童館中心に勤務し、名前は Kamille Brashear (カミール) 女性。彼女は埼玉 YMCA のダイナミックサマーキャンプの受け入れ先でもあるシカゴの West Cook Y の元メンバーであり、3. 11

の震災後に来日した West Cook YMCA 中高生ボランティアグループのメンバーです。現在、川越センター3階に住んでおり、川越の金曜中学生クラスも担当しています。機会がありましたらぜひ紹介させてください。



<川越ワイズ 20 周年記念寄贈品について>

この度は、記念品をお贈りいただきありがとうございます。以下の記念品は大切に使用させていただきます。

スチール書庫 1つ *5月末納品予定
会議イス 10脚 入荷済み

河合 今日子



(編集後記)

私は、思いもかけず、川越ワイズメンズクラブ 20周年記念例会の実行委員長をおおせつかりました。利根川さんの指示の下で、下働きで良いだろうなどと、軽い気持ちで引き受けましたが、11名のクラブでは、傍観は許されません。

その中でも、記念冊子の編集は本当に良い経験をさせてもらいました。何とか期限に間に合わせるように、完全原稿を電子情報で印刷・製本会社に送信した時は、充実感を味わいました。思った通りの冊子が完成したことで、更にその充実感が増しました。次の20年後はどうなっているのでしょうか。2039年???



風薫る5月!! 山麓は新緑でも、谷川岳はまだ雪に覆われている故郷、水上に行ってきました。身も心もリフレッシュできました。故郷は何時行っても暖かく迎えてくれることを嬉しく思います。

5月もワイズの活動に励みましょう。(K.Y.)